

世界のともだちと
心をつなごう

第10回

unicef 
世界の子どもたちのために

ユニセフ のつどい、

Unicef Festival

3月17日(土)
10:30~15:30

コープこうべ生活文化センター
2Fホール

参加費
無料



th

世界のともだちと
心をつなごう

第10回

ユニセフ のつどい

Unicef Festival



3月に10周年を迎える兵庫県ユニセフ協会がひらく、
学びのあるエンターテインメント。

TALK

知ることからはじめよう。

午前の部

講演

ユニセフが こどもに できること

TALK GUEST

平林 国彦

Hirabayashi Kunihiko

ユニセフ東京事務所代表、医学博士。約10年間の国立国際医療センター勤務後、南アフリカなど計8カ国の病院での政策立案支援等に携わる。JICA、WHOを経て、2003年からユニセフ。アフガニスタン、レバノン、インドなどで活動。2010年4月より現職。



午後の部

リレートーク

未来へわたしの一步。

TALK GUESTS

森田 明彦

Morita Akihiko

外務省、国際連合開発計画、財団法人日本ユニセフ協会・広報室長、東京工業大学・特任教授等を経て、2010年4月より宮城県の尚絅学院大学教授。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン・シニア・アドバイザー、フリーザチルドレン・ジャパン理事。

菅野 芳春

Sugano Yoshiharu

青年海外協力隊員として39歳でガーナへ。帰国後、ガーナ支援協会を設立。ガーナの雇用創出のための活動の最中、東日本大震災を受けて「支援の会」を設立。石巻に移住し自立支援NPO「ワタママ食堂」などをサポート。

カンベンガ・マリールイズ

Kambenga Marie Louise

1993年青年海外協力隊カウンターパートナーとして福島で研修。翌年2月、ルワンダに帰国するも内戦が勃発。難民キャンプでの生活の後、同年12月に再来日を果たす。2000年日本でNPO法人「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、ルワンダに「ウムチョムウーザ学園」を設立。

竹村 彩花

Takemura Ayaka

同志社大学5年生。2010年3月ピースボートのカンボジアスタディツアーに参加。訪問後、現地NGO「カンボジア・ハンディクラフト・アソシエーション」で9か月間寝食をともにし働く。現在は関西カンボジアネットワーク代表。

BOOTH & PERFORMANCE

楽しんで、つながって。

フェアトレード、東日本支援グッズ、ルワンダカフェ、バルーンアート、ユニセフ紙芝居、学生国際支援団体など、たくさんのブースが展示し、にぎわいます。その他、神戸科学技術高校生の発表、アフリカ太鼓奏者、山北紀彦さんによるパフォーマンスや住吉小学校の児童による合唱もあり。知ることから始めて見ませんか。あなたのその一歩をお待ちしています。



主催：兵庫県ユニセフ協会

後援：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、(公財)兵庫県国際交流協会、生活協同組合コープこうべ 協賛：神戸YMCA、神戸YWCA、兵庫県子ども会連合会

■お申し込み

参加を希望される方は、平成24年3月15日(木)までに電話、ファックスにてお申込みください。軽食(無料)を用意しています。

電話

078-435-1605

FAX

078-451-9830

兵庫県ユニセフ協会

〒658-0081

神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター4F

<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

■案内図

